



学校関係者評価

(2021年度)

評価対象期間

自：2021年4月1日

至：2022年3月31日



日本健康医療専門学校

学校法人創志学園

日本健康医療専門学校

学校関係者評価委員会

目次

1. 目的	1
2. 評価の概要	1
3. 評価結果の公表・活用	1
4. 実施体制（学校関係者評価委員会組織）	1
5. 委員会の開催	1
6. 評価要領	2
7. 自己評価及び各評価項目に対する委員会報告	
(1) 教育理念・目標	5
(2) 学校運営	6
(3) 教育活動	7
(4) 学修成果	9
(5) 学生支援	10
(6) 教育環境	12
(7) 学生の受け入れ募集	13
(8) 財務	14
(9) 法令等の遵守	15
(10) 社会貢献・地域貢献	16
(11) 国際交流	17

1. 目的

- ① 当校が実施した自己評価の結果に基づき、その結果の客観性・透明性を高めるために行う。
- ② 当校と密接に関係する者（学校関係者）の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図るために行う。

2. 評価の概要

- ① 自己評価結果の内容が適切か
- ② 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策が適切か
- ③ 学校の重点目標や評価項目等が適切か
- ④ 学校運営の改善に向けた実際的な取組が適切か

3. 評価結果の公表・活用

学校関係者評価委員はその評価結果や今後の改善方策等についてとりまとめ広く公表する。学校は評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的に改善を図る。

4. 実施体制（学校関係者評価委員会組織）

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする以下の「学校関係者」を選任し、学校関係者評価委員会を組織した。また委員の任期を以下の通りとした。

委員長：接骨院経営（卒業生）

委員：人材派遣会社

美容鍼灸サロン経営（卒業生）

地域住民（町内会長）

事務局：坂本治之 日本健康医療専門学校教務課勤務

任期：上記委員の任期を2021年4月1日から2023年3月31日（2年間）とする。

5. 委員会の開催

2022年2月21日（月）午後1:00より日本健康医療専門学校3F会議室にて学校関係者評価委員会が開催された。会議次第は下記のとおりである。

- ・ 開会、資料確認
- ・ 出席教職員の紹介
- ・ 評価委員の自己紹介
- ・ 学校関係者評価の目的、評価の進め方の説明
- ・ 学校概要、計画、特徴ある教育活動の説明
- ・ 学校評価で取り上げてほしい重点目標を中心に自己評価結果についての説明
- ・ 不明点などの質疑

- ・ 討議
- ・ 今後の予定
- ・ 閉会

6. 評価要領

学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取組方針などについて学校関係者評価委員へ説明を行う。自己評価の概要は以下の通りである。

(1) 教育理念・目標

- ① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているのか)
- ② 学校における職業教育の特色は何か。
- ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。
- ④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか。
- ⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。

(2) 学校運営

- ① 目的等に沿った運営方針が策定されているか。
- ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。
- ③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。
- ④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか。
- ⑤ 教務・財務等の組織整備等、意思決定システムは整備されているか。
- ⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。
- ⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか。
- ⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。

(3) 教育活動

- ① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。
- ② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修学年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。
- ③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。
- ④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されている。
- ⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携、カリキュラムの作成・見直し

等が行われているか。

- ⑥ 関連分野における実践的職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか。
- ⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか。
- ⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。
- ⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。
- ⑩ 資格取得等に関する指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。
- ⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる用件を備えた教員を確保しているか。
- ⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保する等マネジメントが行われているか。
- ⑬ 関連分野の先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか。
- ⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか。

(4) 学修成果

- ① 就職率の向上が図られているか。
- ② 資格取得率の向上が図られているか。
- ③ 退学率の低減が図られているか。
- ④ 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか。
- ⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。

(5) 学生支援

- ① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。
- ② 学生相談に関する体制は整備されているか。
- ③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。
- ④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。
- ⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか。
- ⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか。
- ⑦ 保護者と適切に連携しているか。
- ⑧ 卒業生への支援体制はあるか。
- ⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。
- ⑩ 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。

(6) 教育環境

- ① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。

② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。

③ 防災に対する体制は整備されているか。

(7) 学生の受け入れ募集

① 学生募集活動は、適正に行われているか。

② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか。

③ 学納金は妥当なものとなっているか。

(8) 財務

① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。

② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。

③ 財務について適正に行われているか。

④ 財務情報公開の体制整備はできているか。

(9) 法令等の遵守

① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。

② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。

③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。

④ 自己評価結果を公開しているか。

(10) 社会貢献・地域貢献

① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

② 学校のボランティア活動を奨励しているか。

③ 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。

(11) 国際交流

① 留学生の受入れについて明確な方針を持って行っているか。

② 留学生の受入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか。

③ 留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか。

7. 自己評価及び各評価項目に対する委員会報告

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているのか)	④	3	2	1
②学校における職業教育の特色は何か	4	③	2	1
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が 学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する 業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

a 課題

一流の医療人の育成を目指し、これまでも教育にあたってきた。そして一定の成果を上げてきた。コロナウイルス感染症の影響はあるが、万難を排して本校の教育理念を堅持していきたい。

b 今後の改善方策

本校が目指す教育理念と目標に揺るぎはない。

一流の医療人を育成するためにこれまでの方針を堅持していきたい。

学校関係者評価委員会意見

開校 20 年で多くの人材を社会に輩出してきた。彼らの社会的評価が高いと感じた。

このような状況で伝統医療の継承者を育成していくことの重要性を更に感じる事ができた。

医療関係従事者の社会的ニーズは常にあり学校教育の社会的貢献性は高いと思う。

困難な中で実習授業を堅持している体制は高く評価をしたい。

医療事務従事者は社会的需要が高い。専門化された人材教育のさらなる充実に期待する。

同種の学校が多くある中で、更に特色のある教育に期待をしたい。

教育内容のさらなる進化を望みたい。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
④人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	③	2	1
⑤教務・財務等の組織整備等、意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
⑦教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか	④	3	2	1
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

a 課題

事業計画に沿った学校運営が行われた。業務の効率化や情報公開については満足のできるレベルにあると考える。運営組織や意思決定機能は有効であるもののよりスピード感のある運営体制にすることが課題である。

b 今後の改善方策

今後も学内での研修等で課題の克服と徹底を行っていきたい。教員の若年化は組織としては悪いことではないが、社会経験が浅いことについては学内教育により改善できる余地が十分にあると考えている。

学校関係者評価委員会意見

地域のコミュニティとして健全な住民の一部となっている。地域活動にも積極的に参加をしてもらっている。

コンプライアンスに関しては教職員に周知されているものと感じた。

学生は近隣住民に対しても好感が持てる。

先生方の学校運営方針には共感できる。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修学年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されている	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	④	3	2	1
・関連分野における実践的職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる用件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保する等マネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野の先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
-------------------------	---	---	---	---

a 課題

コロナウイルス感染症による影響は残るものの、あらゆる対策を施し教育活動を行ってきた。次年度はコロナ前にすべての教育活動を戻すことを目標としていきたい。

b 今後の改善方策

対面授業を基本方針として今年度は取り組んできた。そして達成できた。次年度もこの体制を継続していきたい。さらに学内の人材教育等を積極的に推進していきたい。

学校関係者評価委員会意見

こんな状況においてもあらゆる対策を講じて学校運営がなされている。高く評価できる。

年2回の学生による授業評価により教員に緊張感のある体制ができていると思う。

学修が遅れている学生に補講を行うなど、丁寧な教育活動が行われていると感じた。

習熟に応じたカリキュラム設計がされている。無理なく体系的に学修できると感じた。

シラバスにより各教科の到達レベルや学習内容が明確に示されている。

授業評価の制度は教員にとって厳しいものと思うが、大変に有効なシステムである。

成績評価や進級・卒業の判定は明確になっている。厳しいけれども当然のことと思う。

国家試験の高い合格率は指導体制がしっかりとしている証である。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
②資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
③退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
④卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4	③	2	1
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

a 課題

就職率、資格取得率ともに満足するレベルには達しているが、退学率については改善が必要である。また、卒業生の社会的評価の把握については満足するレベルにはあらず、今後の課題である。

b 今後の改善方策

退学の理由は様々であるが、特には進路先不適合がある。入学者の確保は経営課題ではあるが、入学してからの困難を考えれば、説明会等で入学希望者にしっかりとした説明が必要である。また、学生ひとりひとりに対して、より一層丁寧な指導を行っていく。

学校関係者評価委員会意見

国家試験の高い合格率は学修成果の現れと思う。

退学者の減少対策に力を入れていると感じた。

年に数回、企業を招いて就職セミナーを学内で開催している。とても良いことだと思う。

卒業生の社会での活躍を把握して、積極的に支援している。

社会ニーズを反映したカリキュラムにより改善することを希望する。

卒業生の活躍をもっとアピールしたほうが良いと思う。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
②学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
⑦保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
⑧卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
⑩高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

a 課題

コロナウイルス感染症の影響による経済的な支援体制を国の制度を活用して行ってきた。次年度も引き続き行っていくと同時に、就職の支援体制の強化に取り組んでいきたい。

b 今後の改善方策

学生の就職先の新規開拓に引き続き取り組んでいきたい。社会のニーズを踏まえた人材教育を推進することで、より多くの選択肢の持てる学生教育をしていきたい。

学校関係者評価委員会意見

コロナによる経済的な困難な学生の支援を積極的に行っていると感じた。

スポーツを中心としたクラブ活動を積極的に推進している。文武両道で教育活動をしていると感じた。

保護者と密な連携体制をとっている。重要なお知らせは学生だけでなく同時に保護者へも告知している。大変に良いことだと思う。

卒業生に対しての開業支援体制を整備したほうが良いと思う。

学生相談は教育面（学習面）だけでなく、心や人間関係の問題までフォローできれば良いと思う。

留学生に対する進路指導体制はしっかりしていると感じた。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④ 3 2 1
②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
③防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

a 課題

学外の実習先の確保を推進してきた。現況において受け入れ先の確保に難しさがあるも、本校の教育の根幹を成す実習教育の充実は不可欠である。

b 今後の改善方策

学外での実習体制については、既に数箇所の実習施設の確保を終えているが、本校の教育理念等を伝えていく必要がある。実習は行ったが中身が伴っていないなければならない。これについては各教員が丁寧に伝え、教育体制の充実を図っていきたい。

学校関係者評価委員会意見

学校外の実習施設を増やしていると聞いた。学生にとって大変に良いことだと思う。

年に1回防災訓練を実施している。大変に重要なことだと思う。

教職員が消防団に入団し、防災に対する意識や技術を学んでいる。大変に良い取り組みだと思う。

一部の設備や施設に老朽化を感じる。

インターンシップや海外研修をもう少し充実させて方が良いと思う。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	4 ③ 2 1
③学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

a 課題

学生募集活動は適正に行われている。今後も教育成果を正確に伝えて行くことが課題である。

b 今後の改善方策

今後も募集活動においては丁寧に入学希望者に伝えていきたい。

学校関係者評価委員会意見

学納金は高額であるも教育内容に見合ったものと思う。

残念ながら退学者がいるが、入学者に対する説明や選抜を更に工夫する必要があると思う。

学生募集活動は適正に行われていると思う。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
③財務について適正に行われているか	④ 3 2 1
④財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

a 課題

当校を設置する学校法人創志学園において財務基盤は安定しており、問題はない。財務情報公開についても体制は整備されており、透明性は確保されている。

b 今後の改善方策

今後もこれまで通りの財務情報の公開を継続していく。

学校関係者評価委員会意見

財政基盤の盤石と思われる。学校法人の財務状態の健全性にあると思う。

財政状況がしっかりと公開せられていて、安心して入学できる体制ができていると感じた。

情報公開はできている。法人として適正に運営されていることを感じた

予算や収支計画に不透明なところはないと思う。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
④自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

a 課題

自己評価結果の公表をHP等で一般に公表することにより、本校が置かれている状況を広く一般に告知することで、より一層の教育体制等の充実を図っていきたい。

b 今後の改善方策

今回の自己評価をもとに学校関係者評価を実施し問題点の改善を行っていきたい。

学校関係者評価委員会意見

自己評価等はホームページ等を使ってしっかりと公開されている。

問題点の改善にしっかりと取り組んでいると感じた。

個人情報の保護に関しては一定レベルの評価ができると思う。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	④	3	2	1
②学校のボランティア活動を奨励しているか。	4	3	②	1
③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	②	1

学校関係者評価委員会意見

コロナウイルス感染症によりこれまでしてきた地域貢献は、残念ながらできていない。

学修成果を活かした地域住民に対する貢献を更に充実させてほしい。

ボランティア活動の実状は不明である。もっと積極的に貢献すると良いと思う。

地域に対する公開講座や教育訓練をもっと積極的にやって欲しい。

(11) 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①留学生の受入れについて明確な方針を持って行っているか。	④ 3 2 1
②留学生の受入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか。	④ 3 2 1
③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか。	④ 3 2 1

学校関係者評価委員会意見

優良な留学目的の学生を選抜して受入れているようである。

留学生の管理については特に問題はないと思う。

留学生の進路はしっかりとしており、適正な体制が整備されているものと思う。

地域住民にとって学校の留学生は特に問題がない。